

科目ナンバー： BA3074

授業コード： 2210300700

講義科目名称： 異文化コミュニケーション論

英文科目名称： Introduction to Intercultural Communication

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	自由選択
担当教員			
エルダトン・サイモン、徐淑子、中村義実			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間			
	【担当教員】				
	【氏名】 アドレス	【所属】	【研究室】	【メール】	
	◎エルダトン サイモン elderton@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	214		
	徐 淑子 suhs@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	316		
	中村 義実 ynaka@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	210		
	【本学の科目区分】 教養科目				
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程				
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎				

到達目標	1. 一般的な人類文化の基礎的現象及び世界の文化の多様性を理解できる。 2. 異文化コミュニケーションの現状と課題を理解できる。 3. 異文化コミュニケーションに必要な態度や技能を身につけ、それらを実践できる。 4. グループで協働し、英語でのプレゼンテーションを行うことができる。
授業概要	異文化コミュニケーションとは、異なる文化的集団のメンバー同士が直接交流する際に行われるものを指す。この場合、社会的な相互作用における人々の関係性と、文化の違いや隔たりを越えて共通の理解を築くためにどのようにコミュニケーションを調整するかが重要になる。本講義では、中心となる質問に基づくグループディスカッションやケーススタディの検討を通じて、異文化コミュニケーションの基本を理解するとともに、関連スキルの向上を支援する戦略や技術への認識を深めることを目指す。最後には、看護や医療現場における異文化コミュニケーションの改善方法について、グループでアイデアを発表することが求められる。
授業計画	1 授業内容 授業形態：講義・グループディスカッション 担当教員：エルダトン（中村） 学修課題：グループディスカッションとケーススタディ（日本語、または英語） 学修内容： ディスカッションテーマ： ・全ての人間社会に共通するものは何か？ ・全ての人間に共通するものは何か？ ・文化とは何か、それは私たちの思考や行動にどのような影響を与えるのか？ ・文化においてコミュニケーションはどのような役割を果たすのか？ ・効果的なコミュニケーションとは何か？ ・異なる文化が交流する際に何が起きるのか？（ケーススタディ：ニュージーランドのワイタンギ条約） ・異なる文化の個人が交流する際、コミュニケーションにどのような影響が出るのか？ ・効果的な異文化コミュニケーションを支援するために何ができるのか？ ・異文化コミュニケーションにおいてテクノロジーはどのような役割を果たすことができるのか？ 事前学修：異文化コミュニケーションとは何か調べておく 事後学修：前回の授業での議論の主なポイントを振り返る 備考： 2 授業内容 授業形態：講義・グループディスカッション 担当教員：エルダトン（中村） 学修課題：グループディスカッションとケーススタディ（日本語、または英語）

3	学修内容： ディスカッションテーマ： ・文化とは何か、それは私たちの思考や行動にどのような影響を与えるのか？ ・文化においてコミュニケーションはどのような役割を果たすのか？ 事前学修：各回の授業の前に、ディスカッションのテーマを確認してください。また、授業内のディスカッションに積極的に参加できるよう、事前にそのテーマについて調べておく 事後学修：授業での議論の主なポイントを振り返る 備考： 授業内容 授業形態：講義・グループディスカッション 担当教員：エルダトン（中村） 学修課題：グループディスカッションとケーススタディ（日本語、または英語） 学修内容： ディスカッションテーマ： ・効果的なコミュニケーションとは何か？ ・異なる文化が交流する際に何が起きるのか？（ケーススタディ：ニュージーランドのワイタング条約） ・異なる文化の個人が交流する際、コミュニケーションにどのような影響が出るのか？ 事前学修：各回の授業の前に、ディスカッションのテーマを確認してください。また、授業内のディスカッションに積極的に参加できるよう、事前にそのテーマについて調べておく 事後学修：授業での議論の主なポイントを振り返る 備考： 授業内容 授業形態：講義・グループディスカッション 担当教員：エルダトン（中村） 学修課題：グループディスカッションとケーススタディ（日本語、または英語） 学修内容： ディスカッションテーマ： ・効果的な異文化コミュニケーションを支援するために何ができるのか？ ・異文化コミュニケーションにおいてテクノロジーはどのような役割を果たすことができるのか？ 事前学修：各回の授業の前に、ディスカッションのテーマを確認してください。また、授業内のディスカッションに積極的に参加できるよう、事前にそのテーマについて調べておく 事後学修：授業での議論の主なポイントを振り返る。「どこカレ」にアップしてある資料や動画等を再閲覧する。授業内課題を再度確認する。 備考： 授業内容 授業形態：講義・グループディスカッション 担当教員：徐 学修課題：グループディスカッションとケーススタディ（日本語） 学修内容： ディスカッションテーマ： クリニカル・バイアスと異文化コミュニケーション 事前学修：前回の授業での議論の主なポイントを振り返る。「どこカレ」にアップしてある資料を閲覧する。 事後学修：「どこカレ」にアップしてある資料や動画等を再閲覧する。授業内課題を再度確認する。 備考： 授業内容 授業形態：講義・グループワーク 担当教員：エルダトン 学修課題：グループプロジェクト（英語） （6つの帽子思考法プロジェクト）英語のプレゼンテーションの作成・準備（その1） 学修内容： プロジェクトテーマ： 看護や医療分野における異文化コミュニケーションをどのように改善できるか？ 事前学修：前回の授業での議論の主なポイントを振り返る 事後学修：英語のプレゼンテーションのリハーサル 備考： 授業内容 授業形態：講義・グループワーク 担当教員：エルダトン 学修課題：グループプロジェクト（英語） （6つの帽子思考法プロジェクト）英語のプレゼンテーションの作成・準備（その2） 学修内容： プロジェクトテーマ： 看護や医療分野における異文化コミュニケーションをどのように改善できるか？ 事前学修：前回の授業での議論の主なポイントを振り返る 事後学修：英語のプレゼンテーションのリハーサル 備考：
4	
5	
6	
7	

	8	授業内容 授業形態：講義・グループワーク 担当教員：エルダトン 学修課題：グループプロジェクト（英語） （6つの帽子思考法プロジェクト）英語のプレゼンテーションの発表とグループディスカッション 学修内容： プロジェクトテーマ： 看護や医療分野における異文化コミュニケーションをどのように改善できるか？ 事前学修：英語のプレゼンテーションのリハーサル 事後学修：授業での議論の主なポイントを振り返る 備考：
評価方法、評価基準	1.～4. の到達目標に対し、グループディスカッションおよび報告（日本語） 40%、グループプロジェクト（英語）（6つの帽子思考法プロジェクト）50%、自己評価 10%	
必携図書	特になし（授業中に適宜資料を配付する）	
参考図書・資料等	随時提示	
受講、課題、資料配布等のルール	やむを得ず欠席の場合、事前にメールで連絡をすること 課題を締め切り日までに提出すること 原則として、ディスカッションは日本語で行い、グループプロジェクトは英語で発表する。	
教員からのメッセージ	将来、日本や海外で看護師として活躍するためには、異文化間でのコミュニケーション能力がますます重要になってきます。一緒に異文化理解のスキルと知識を磨いていきましょう！ As future nurses here in Japan or overseas, the ability to communicate across cultures will become more and more important. Let's work together to brush up your intercultural skills and knowledge.	
オフィスアワー	エルダトン・サイモン：時間指定なし、要事前連絡。 徐 淑子：火～：12:00-13:00 （その他の日時を希望する場合は、メール等で予約をしてください。） 中村 義実：時間指定なし、要事前連絡。	